

今回は消化器癌の拡大内視鏡診断を企画した。小生が最初に拡大内視鏡にかかわったのは約35年前、ファイバースコープの時代である。スコープは太く視野も狭いうえに術者のみが観察できる状態で、現在のように観察中モニター上でディスカッションするなどとても考えられない状態であった。拡大観察に夢中になり、20コマのフィルムに拡大画像のみ記録してしまい、病変のどこを拡大したのかカンファランスでの質問に答えられず往生したことも多々あり、懐かしい思い出である。当時の色素はコントラスト法としてインジゴカルミン、染色法としてメチレンブルー、トルイジンブルーなどを使用していた。研究会が立ち上がり色素の毒性などの議論を重ね、また、大腸ではクリスタルバイオレットの使用による拡大観察診断の開発によって格段の進歩をとげた。拡大内視鏡は、現在の電子ビデオスコープの時代へと移行し、工藤進英先生らの努力で必要不可欠な診断手段へと発展してきた。また、NBIシステムが開発され、食道や咽頭部の表在癌の拾い上げ診断や、深達度診断、胃癌の範囲診断などにおいても大きな貢献をしている。大腸においては、色素+拡大観察は深達度診断のゴールドスタンダードとなっている。

今回の特集では、どの領域でも画像は美しく説得力があり拡大内視鏡ならではのものである。さらに、超拡大内視鏡と人工知能を使用した自動診断など近未来の診断学への足掛かりとなる内容も含まれており、読者の興味を引くとともに日常診療にお役にたてる内容となっているものと自負している。

(五十嵐正広)

臨牀 消化器内科® Vol. 32 No. 13

©2017 年 11 月 20 日発行

定価(本体 2,750 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2017, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791